

## 【 刑 法 】

次の文を読み、甲の罪責を論ぜよ。解答は、所定の解答用紙にしるせ。

2011 年度

甲が恋人のA女と近所の商店街で買い物をしていたところ、かねてよりA女とよりを戻したいと考えていたA女の元恋人であるBが偶然これを見て、嫉妬のあまり甲に詰め寄り、「俺の女に手を出すんじゃねえ」などと叫びつつ、近くにあった鉄パイプで甲の腕などを殴打してA女を引き離し、更にA女を連れて行こうとした。これに対して、甲は突然の事態に憤激しつつ、A女を助けようと考え、酒屋の店先に置いてあったビール瓶をBの後頭部をめがけて投げつけたところ、ビール瓶はBの側頭部に当たってBは昏倒したが、その際にA女の腕を強く引いたためにA女も転倒し、A女は全治3ヶ月の傷害を、Bは全治1ヶ月の傷害を負った。

## 特別入試問題用紙

憲 法 (40 点)

民 法 (40 点)

刑 法 (40 点)

### 注 意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙は黒インクのボールペンまたは万年筆で記入してください。黒インクのボールペンまたは万年筆を忘れた者は監督に申し出てください。(黒鉛筆・シャープペンシルなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は4ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、あなたの受験番号の番号であるかどうかを確認してください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

【 憲 法 】

「二重の基準論」の内容と問題点について、表現の自由の果たす機能に言及しながら、説明しなさい。解答は、所定の解答用紙にしるせ。

【 民 法 】

古銭収集を趣味としているAは、収集家であるBが江戸時代初期の稀少な小判を売りたがっていると聞いた。そこで、AはBを訪れ、同小判を100万円で購入する契約をBと結び、代金支払と引換えに同小判を受領した。Aは受領後毎日同小判を眺めていたが、1週間後、ふと以前に見た図鑑の写真と異なる文様に気付き、直ちに鑑定の専門家に見せたところ、同小判は偽造品であり、ほとんど無価値であることが明らかになった。

AはBに対してどのような主張をすべきか。(1)Bは偽造品であることを知っていたが、Aに知らせなかった場合と、(2)Bも偽造品とは知らず本物だと思っていた場合に分けて論ぜよ。解答は、所定の解答用紙にしるせ。